

Information

相談のご案内

ひとりで悩んでいませんか?

〈女性の悩み電話相談〉 TEL.643-5813

●月～金10:00～20:00、土日祝10:00～16:00●

〈法律相談〉(予約制) TEL.642-8107

●第2・第4水曜日/13:00～15:30●

〈健康相談〉(予約制) TEL.642-8107

●第3水曜日/13:00～16:00●

●相談の秘密は厳守します ●相談は無料です
●女性の相談員がお聞きします

施設紹介 授乳室

外出中でも赤ちゃんに母乳をあげたいのに場所がない、あるいは人ごみをさけ、落ち着いた静かなところでミルクをあげたい...そんな乳児連れのママやパパに、館内には授乳室が用意されています。扉を開けると、明るいパステル調の室内に、ゆったりと授乳できるよう畳のスペースが設けられ、小さな流し台もあります。これなら年齢の近い上のお子さんもいっしょに待てるし、オムツ替えや手洗いまでできるので、赤ちゃんもママ・パパもさっぱりするでしょう。扉はロック付きですから安心です。

なおご利用の際は、必ず職員に声をおかけくださるようお願いいたします。また、使用済みのオムツは忘れずに持ち帰りましょう。

(渡部 祐子)



図書のご案内



『ジェンダー・フリーは止まらない!』
—フェミ・バッシングを超えて—
上野千鶴子・辛淑玉 著 2002年(松香堂書店)

本書はNPO法人フィフティ・ネットの立ち上げ記念フォーラムをまとめたもの。著名なフェミニスト二人の、文字通り痛快な講演と対談で、特に男性には「目からうろこ」の一冊。

第一部・上野氏の講演はユーモアと皮肉をまじえた切り口鋭い話が続く。「実力がつけば、向かい風も吹くし足を引っ張る人もでてるでしょう。やっとフェミが本気で叩かれる時代がきました。それを喜びたい」といった調子。

第二部・辛氏の話は具体的で、男性をばっさり。セクハラ研修にまつわるエピソードは、まさにありそうな男の実態を暴いている。

そして第三部・二人の対談は、これまた小気味よい。男が読んで面白く、夫婦で読んで話し合うのが一番いいのでは...

(長谷川 寛)

※ジェンダー・フリー=性別・性差による社会的・文化的につくられた男女差、役割分担からの解放の意。ただし、この言葉の定義は人により様々です。

ビデオのご案内

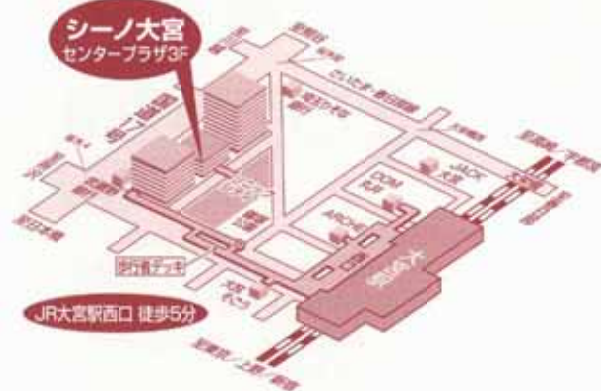
『見えていますか? 家庭の中の男女平等』

財団法人 東京女性財団1993年(29分)

このビデオは、私たちが無意識のうちに縛られている「男らしさ、女らしさ」の規範や男性優位の考え方など、家庭の中にたくさん残っている問題を5つの家庭のケースを紹介しながらオムニバス風にまとめている。

「あるときは主人! あるときは夫! のご都合」、「男の子と女の子で異なる進学など親の期待」、「しばらく子どもはつづらないで共働き(DINKS)でいいか、専業主婦になって赤ちゃんをつくるか」、「妻が扶養家族でいられる範囲内でパートに出るかどうか」、「ひとりっ子が老親介護する社会」など身近な問題をわかりやすく紹介して、家庭の中での男女の平等のあり方をさりげなく考えさせてくれる。

5つのケースを演じ分けている「松金よね子」なる喜劇? 俳優が面白い。(野田 義章)



シーノ大宮
センタープラザ3F

JR大宮駅西口 徒歩5分

編集後記

パートナーシップさいたまのオープニング記念講演会に参加してきました。ニットの貴公子、広瀬光治氏の系との出会い、人との出会い、そして自分らしく輝いてと題しての講演です。広報誌編集員となってまだ4か月、男女共同参画ってなんだろうと考えるようになり、関連の講座や講演会を見つけては参加するようになりまし。今まで女性の講師が多かったため、男性の視点からこの問題を考えるのは新鮮な驚きがあります。同じく新鮮な刺激をもちたいのは編集員会議です。日ごろ女性と子どもばかりの世界に身を置く主婦なので、異なる世代・価値観を持つ相手と話し合いの場を持つことはそれだけで勉強になります。これからは、広報誌とともに成長していきたいと思っています。(鈴木久美子)



もくじ

- 会議室を利用してみませんか!.....2
- 学んでいます! さいたま市女性カレッジ.....2
- 公開講座のお知らせ.....3
- パートナーシップさいたま 秋の講演会.....3
- さいたま市男性短期カレッジ —21世紀型イイ男の条件.....3
- Information.....4



「パートナーシップさいたま」で
いっしょに考えましょ!

鐘の音

Kane-no-Ne



パートナーシップさいたま
さいたま市男女共同参画推進センター

(誌名の由来)

大宮の古い地名「鐘塚」に建てられたさいたま市の新しい拠点、「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」Vol.2 2004年9月25日発行
(編集:発行) パートナーシップさいたま(編集員/鈴木久美子・野田義章・長谷川寛・吉岡万里子・渡部祐子)

さいたま市男女共同参画推進センター
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18(シーノ大宮センタープラザ3階) TEL.048-642-8107 FAX.048-643-5801

E-mail:danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.jp



この印刷物は古紙の配合100%の再生紙を使用しています